



【戦評シート】

平成23年8月9日（火）	協会名： 秋田県 バasketボール協会	
場 所： ニツ井総合体育館（Cコート）	記入者： 宮川宣之	
チームA 石鳥谷 43 (岩手1位)	12-14 12-22 14-12 5-18	チームB 八乙女 66 (宮城1位)

スターター	チームA： #4, #7, #8, #10, #11
	チームB： #4, #5, #6, #8, #10
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input type="checkbox"/> マンツーマン <input checked="" type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 () チームB： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()

第1ピリオド、石鳥谷はゾーン、八乙女はマンツーマンでスタート。序盤、石鳥谷は#7高橋の3Pシュートで先制する。対する八乙女は石鳥谷のゾーンディフェンスに苦しみ思うように攻撃ができない。しかし、八乙女は粘り強いディフェンスから#8細貝の3Pシュートや#5角田のジャンプシュートで追いつき、終了間際に#4小松がブザービートを決め、八乙女が14-12と逆転したところで終了した。

第2ピリオドに入り、八乙女はオールコートディフェンスを仕掛け、相手のミスを誘う。次第に攻撃にもリズムが出始め、#8細貝の連続得点などで徐々にリードを広げる。対する石鳥谷も#8川村の3連続ゴールで必死に食い下がるが、八乙女が36-24とリードして前半を終了した。

第3ピリオド、石鳥谷はマンツーマンディフェンスに変更し、#4高橋、#7高橋らが得点を決め追い上げを図る。しかし、八乙女も#4小松、#5角田が得点を決め逆に引き離しにかかる。対する石鳥谷は#8川村の連続3Pシュートで追い上げるものの、八乙女が48-38とリードを保ったまま終了した。

第4ピリオドに入っても八乙女の優位は変わらず、#8細貝の連続得点でリードを広げる。この試合最大のリードとなった16点差がついたところで、石鳥谷は早くも3回目のタイムアウトをとり、追いつきたいところだが、シュートが決まらず苦しい展開が続く。結局最後まで主導権を握って試合を進めた八乙女が66-43で勝利を収め、準決勝へ駒を進めた。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。